

平成 28 年 7 月 4 日

各 位

北 谷 町

北谷町フィッシャリーナ地区 土地処分完了

魅力と強さを備えた「都市型オーシャンフロント・リゾート地」

北谷町フィッシャリーナ地区は、水産業と観光・レクリエーション等のマリン産業が融合した交流拠点としてリゾート開発を継続しているエリアですが、本地区における土地処分を完了したのでお知らせします。

平成 27 年 10 月より C 2-1、E 1、E 2 及び F 街区にかかる開発事業者募集を進めてきたところ、ホテル開発を前提に、ムーンリゾートマネジメント株式会社（C 2-1 街区）、大和ハウス工業株式会社（E 1 街区）、アーク・クレスト株式会社（E 2 街区）、株式会社奥原商事（F 街区）と土地売買契約を締結しました。これをもちまして、北谷町フィッシャリーナ地区における土地処分を完了しました。

既に進出している開発事業者については、オリックス不動産株式会社の所有する A 1、A 2、B 1、B 2-1 及び B 2-2 街区において、「ヒルトン沖縄北谷リゾート（A 1・A 2 街区）」と「セントレジェンダ（B 2-2 街区）」が立地しています。B 1 街区と B 2-1 街区においても、同社が新施設を建設することになっています。そして、C 1①、C 1②、C 1③ 及び D 街区において、有限会社エイチ・アイマリン企画（C 1① 街区）、有限会社ヒューネッツ（C 1② 街区）、有限会社楚南商事（C 1③ 街区）、ザ・テラスホテルズ株式会社（D 街区）の商業施設が立地しています。

本地区におけるホテル客室数は約 800 室になり、年間約 57 万人（約 74 億円）の利用者を見込んでおります。

本地区とアメリカンビレッジ地区を合わせたホテル客室数は約 1300 室になり、年間約 90 万人（約 113 億円）の利用者を見込んでおります。

このように多くの観光施設が集積してきたことは、本町の掲げてきた施策「魅力あふれる西海岸地域の形成」や沖縄 21 世紀ビジョン「世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート地の形成」を着実に進めてきた成果であると考えております。

本町としては、持続的な経済成長を実現するため、沖縄観光の抱える課題（滞在日数の延長、客単価の向上、地域連携の充実等）を踏まえながら、北谷の魅力を最大限に引き出せるように公園及び遊歩道等の一体的な観光インフラ整備を引き続き推進するとともに、高い競争力をもつリゾートホテル、ウェディング、レストラン、ショッピング等の観光関連施設を誘致・集積させるなどして、魅力と強さを備えた「都市型オーシャンフロント・リゾート地の形成」を目指します。

今後の取り組みについては、リゾートホテルを核とした一体的なインフラ整備を拡充します。町民にも観光客にも喜ばれるよう、海で開放的かつ刺激的な体験をした後、すぐ近くで食事や買い物、音楽を楽しみ、夕方には海岸線を散策しながらケラマ諸島付近に沈む夕日を見ながら癒しの時間を満喫していただきたいと考え、サンセットビーチと町営プールの大規模改良、馬場公園から安良波公園まで回遊できる歩行者ネットワークの構築、海の玄関口となるフィッシャリーナに多目的栈橋を整備するなど、自然と人にやさしい魅力的な観光インフラを整備します。



海の玄関口（多目的栈橋）



西海岸回遊路（歩行者ネットワーク）

街区別処分基本方針

フィッシャーマンズワーフ

隣接する公共マリーナとは互いに連携し、漁業と連携した商業及びマリ産業の誘致を図るゾーン。



D街区
「チャタンハーバーブルワリー&レストラン」

公共マリーナ

マリネジャー事業者用バス、ビジターバス、陸上駐艇場、船舶メンテナンス工場、小型船舶免許講習、マリネジャー案内所等の機能が集積するゾーン。※既存漁港と連携

海業振興センター



フィッシャリーナ事業を先導する役割を担う町の公共施設である。飲食、物販、マリネジャー案内所、管理事務所等を備え、北谷漁協が運営する飲食店が入居。



リゾート商業

リゾートホテル用地と連携したリゾート関連商業ゾーン。リゾートライフを満喫させる飲食店、物販店、サービス店を集積する。非日常的な商業を展開。



C1-1街区
「MAKAI RESORT CHATAN」



B2-2街区
「セントレジェンダ沖縄」



C1-2街区
「沖縄昭和館」



B1・B2-1街区
「新施設を建設予定」



C1-3街区
「フェリンダーデ」

マリタウン

隣接する公共マリーナやフィッシャーマンズワーフと連携を図り、街の賑わいを創出できるホテルや商業店舗を集積するゾーン。中長期滞在型ホテル、ダイバーズホテル、マリショップ、ダイビングショップなど多くの人で賑わう店舗が期待される。



C2-1街区



E1街区



E2街区



今回処分地

エンターテインメントテーマタウン

フィッシャリーナ地区及びアメリカンビレッジの間に位置することからも、両地域の回遊性を高め相乗効果をもたらすゾーン。エンターテインメント性の高いテーマを持ったホテルや商業施設等を誘致。



F街区

リゾートホテル (ヒルトン沖縄北谷リゾート)

本計画地のまちづくりイメージを印象付ける高級感あるホテル・宿泊施設を立地し、メインターゲットを誘導するリゾートゾーン。低中層を主体とした、圧迫感のないスカイラインを構成する。

